ベトナム向け
木製フレーム部材の販売促進

マーケティング研究コンソーシアム

マーケティング研究
コンソーシアム　メンバー

アルス株式会社

マルオカ工業株式会社

ハウディー株式会社

株式会社山崎屋木工製作所

タミヤ株式会社

森の窓株式会社

株式会社信越工機

高広木材株式会社

合同会社プラットフォーム河合

金山町森林組合

木ポイント協同組合東濃地域木材流通センター

上郷木材株式会社

木製サッシとは？

- 「木」の窓
- 国内ではオーダーメイドが主流



「木製サッシ」は何が良いのか？

・自然素材であり、人と相性が良い

・気密性・断熱性・防露性が高い

・見た目に心地よい（デザイン性が高い）

・防火設備認定品のバリエーションがある

（アルス「夢まど」ブランドの特徴）



キャンバス木枠とは？

- 「木」の画枠
- オーダーメイド及び規格サイズの選択が可能







実施の目的

国産ヒノキ材の使用量を拡大するため、国内で生産した木製サッシ及びキャンバス用木枠（画材）向け部材をベトナムハノイで組み立て、現地で組み立てるノックダウン方式を採用し、現地パートナーと共に新規市場を創造し販売拡大を図る。

今回は、事業を協働できる現地生産パートナーの発掘を図ることを目的とし、セミナーの開催及び展示会の出展を行う。

実施の内容

①セミナーの開催

場所：ハノイ市内

期間：2019年9月19日

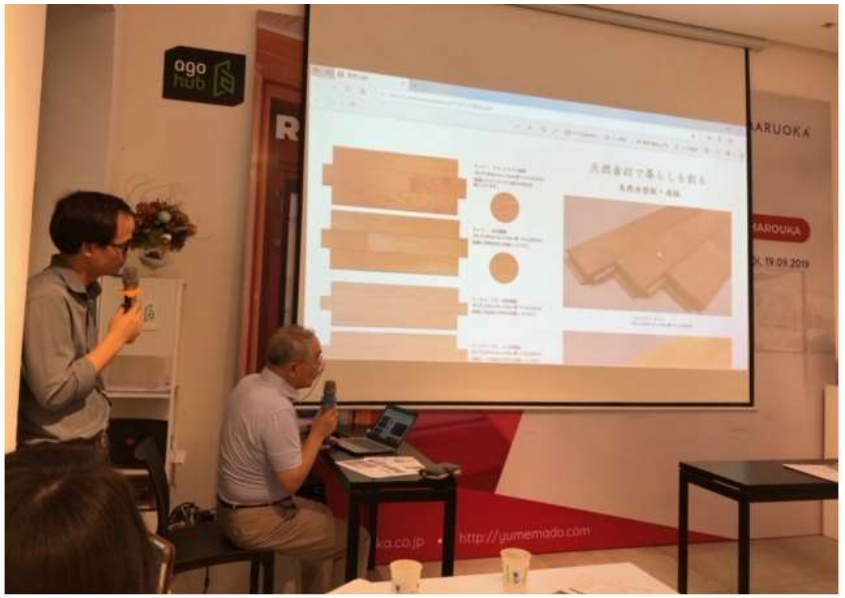




実施の内容

①セミナーの開催







実施の内容

②展示会への出展

- 展示会詳細

VIETBUILD

国際建築展示会：年に10回、ハノイでは3回開催。国内外企業が参加し、建設資材、家具、内装等多様な製品やサービスを紹介、1700ブースが出展する

場所：ハノイ市ナムトゥーリエム区　国立展示建設センター

期間：2019年11月27日～12月1日の5日間

実施の内容

②展示会への出展





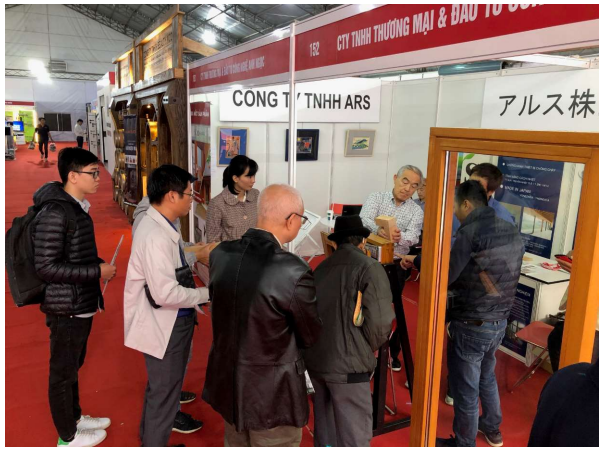


実施の内容

②展示会への出展







実施の内容

③ワークショップの開催

主催：木質外被研究開発プラットフォーム／マーケティング研究コンソーシアム

後援：「知」の集積と活用の場　産学官連携協議会

場所：東京国際フォーラムG404　日時：2019年12月24日(火)13:30～15:00







成果

- 令和1年度の設定輸出目標額は、木製サッシ5百万円（平均戸建て住宅35～40坪、1.5棟分の納入価格）キャンバス用木枠2百万円（美術大学生向け平均単価1万～1.5万円、130～200名分）であったものの、輸出額はゼロ円という結果に終わった。

成果

- 組立事業者の候補者を4名発掘したものの、パートナーになるまでには至らなかった。引き続きコンタクトを取り、情報収集を行っていく。

候補者についての情報

①木工機械・刃物・金物の販売業者

②アルミ・鉄鋼塗装の専門業者

③アルミサッシ販売業者(中間層や富裕層向けに販売)

④商社

(主にトイレ部品・シャワーヘッドなど。長年日本商品を販売)

原因

- 大きな要因は、施主並びに建築関係者の住宅環境に対する成熟度の差である。
- 現地での住宅市場に関して、2018年度の住宅供給数は、ハノイだけで約4万5千戸（前年比＋24%、 集合住宅約87%）、販売数は約3万1千戸（集合住宅2万8千戸、戸建て3千戸）である。販売ボリュームゾーンは日本円で1500万～3000万であることから、市場規模としては十分であり、関係者の成熟度を高め潜在需要を掘り起こすことができれば、木製サッシへの需要は活性化されると考える。それらへの訴求方法が不十分であった。
- 馴染みのない木製サッシを単体でVIETBUILD会場に展示しても、防火性能、断熱・機密性能は全く体感できない。それ故、快適な住まいをもたらす機能を想像、認識させることは容易ではない。建築関係者向けセミナーの時も、木製サッシの特徴的な機能を画像・動画を用いて説明しても実感が湧かない様子の参加者も見受けられた。

原因

- 建築関係者向けセミナーでは、参加施工業者から「ベトナムの住宅では単板ガラスで十分です」という発言があり、ベトナムでの現状は、10年ほど前の日本の住宅事情に相当すると感じた。単板ガラスの窓のベトナムの居住空間では、冷房による室内外の温度差で結露が生じカビが発生し住宅を損傷し健康を害するということが、未だ常識となっていないことも原因の一つである。

- キャンバス用木枠に関しては、一般向けの商品では価格ギャップが予想以上であることが原因である。ただ、フランスの植民地であった名残で、絵画店の店舗数は日本の10倍以上あるので、高級品に対するニッチの市場をじっくりと攻めていけば市場シェアを得ることは可能と考える。

今後の計画

- 最終目標

国産ヒノキ材の使用量を拡大する

そのために、国内で生産した木製サッシ及びキャンバス用木枠（画材）向け部材をベトナムハノイで組み立て販売する

- 住環境に対する関係者の認識のギャップを埋める必要あり

↓

- 来年度

現地で有望な中堅のデペロッパーや建築・内装関係者を日本に招聘

アルミサッシ等に比べ格段の防火性、断熱・機密性に優れた木製サッシを採用した住み心地良い日本の住宅を、体感・実感してもらう

森林資源を視察(ヒノキ材の優位性を共通認識とする)